

## 『多くの命を救うために！！』 ～救護は一日にして成らず～

平成 30 年 6 月 16 日(土)～17 日(日)

長崎赤十字会館にて、職員 73 名とボランティア 6 名の計 79 名が参加し、**常備救護班要員基礎研修会**を実施いたしました。

被災地では、通常の診療活動と大きく異なり、医療需要(傷病者) > 医療供給という環境の中で、限られた医療資源を有効に使い一人でも多くの命を救うための活動となります。

災害医療体制の確立、特殊資材の取扱い、他機関との連携等々、知っておくべき知識や技術があり、日頃からの備えが必須となります。

日赤長崎県支部では、災害時いつでも派遣できるチームとして、医師・看護師・連絡調整員からなる医療救護班を 7 個班登録しています。



「整列っ」



「無線通信」



「頸椎固定」



「救護所設営」

研修の総まとめとして、**実働訓練！！**

「地震によりビルが倒壊し、多数傷病者が...。」という想定で、救護班と傷病者役とにわかれて実働訓練を実施。



「受付」



「全身観察」



「振り返りで情報共有」

☆救護スタッフ☆  
ポロシャツお披露目

